

# 序

宗田文庫は、医学史・薬学史研究の分野においてすぐれた業績を残された、故宗田一先生の長年にわたる収集にかかり、文献のほかに絵画などもふくむ、科学史・技術史の貴重なコレクションである。その龐大な収集は、専門とされた医学・薬学の領域は云うまでもなく、科学史全般にわたり、製薬業界の資料にまで及んでいる。まさに、先生の広い視野と飽くなき探究心と旺盛な好奇心によっていつしか築きあげられていった、かけがえのない宝庫といってよい。

宗田文庫が国際日本文化研究センターに保存・管理され、ひろく研究者の用に供せられることになったのは、センター設立当初から、わたしたちの本草史・国学史の共同研究の中心的なメンバーとして活躍された、先生の生前の希望によるものである。おなじくすぐれた物理学史家であった故廣重徹教授の遺された廣重文庫とともに、センターの所蔵する科学史・技術史文献資料の二大コレクションの一つとして、宗田文庫は後進に裨益するだけでなく、共同利用機関としてのセンターの存在価値をも高めている。

宗田先生の遺志を体して文庫をセンターに託されたゞし子夫人とご遺族に敬意を表するとともに、文庫の整理と目録の作成にあたられた関係者の労をねぎらい、目録完成を機に先生の遺産がさらに多くの人びとによって活かされ、豊かな成果を生みだしてゆくことを期待したい。

平成13（2001）年1月15日

山田慶兒

（国際日本文化研究センター 名誉教授）